

第3回事務事業に関する外部評価会議経過調書							
参事	課長	主査	担当	担当			日時
/	/	/	/	/	/	/	場所
	/	/	/	/	/	/	
議題	(1) 平成27年度外部評価結果に対する進捗報告について (2) 平成28年度外部評価(個別評価)について (3) その他						
出席者	1 奥 真美		2 平井 文三		3 猪股 良子		
	4 大山 賢一		5 坂口 志津子				
	説明員						
	1 秘書広報課長(渋谷)		2 職員課長(下川)		3 生活文化課長(菅原)		
	4 環境政策課長(小泉)		5 福祉総務課長(島崎)		6 健康課長(遠藤)		
	7 子育て支援課長(功刀)		8 児童青少年課長(田中)		9 管理課長(古澤)		
	10 生涯学習課長(市澤)						
事務局							
1 企画経営室参事(土屋)	2 行政管理課長(道辻)						
<p>【企画経営室参事】第3回事務事業に関する外部評価会議を開会する。議題に入る前に本日の出欠席者の報告をお願いする。</p> <p>【行政管理課長】本日の会議は全員出席である。定足数に達しているため、会議は成立している。</p> <p>【企画経営室参事】次に、配付資料の確認である。資料については、事前に郵送配付させていただいたもののほか、追加資料を別途机上配付している。</p> <p>—配付資料の確認を行った—</p> <p>【企画経営室参事】議題に入る前に、本日の会議の進行について、課長に説明させる。</p> <p>—「第3回外部評価会議の開催にあたって」の説明を行った—</p> <p>(1) 平成27年度外部評価結果に対する進捗報告について</p> <p>【企画経営室参事】それでは、(1)平成27年度外部評価結果に対する進捗報告についてである。進捗報告については、時間の都合上、原則として所管課説明のみを想定しているため、質問等は最小限にお願いしたい。流れとしては、行政管理課長より事業内容の説明と昨年度の外部評価結果等の説明を行った後に、所管課長より進捗報告を行っていく。まずは「子供の広場整備事業」についてである。</p> <p>—資料1を基に「子供の広場整備事業」の進捗報告を行った—</p> <p>【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。</p> <p>【委員】昨年の外部評価結果では、子どもの遊び場に対する市民ニーズを的確に把握していく努力が必要であるといった話があり、今回の進捗報告として、子どもの遊び場を実際に利用している団体と協定を結んでいるとの話があった。こういった協定を通して市民ニーズの把握もできているといった理解でよいか。</p> <p>【環境政策課長】協定を結んでいる広場に関しては、団体等より要望を聞くことができているが、それ以外の広場については市民ニーズが把握できているとは言い難い。また、ほとんどの広場は民有地であるため、あまり大きな整備は難しいといった現状もある。そのため、所管課としては、まずは子どもが走って遊べるような空間を整備していくといった考えで事業を行っているところである。</p>							

【委員】市民ニーズの把握といったことが昨年の外部評価結果の趣旨であるが、今後どのように把握していくかの検討はしているか。

【環境政策課長】市のニーズ調査に質問を加えることなど、今後検討していきたいと考えている。

【委員】子供の広場全体の要望ではなく、個々の広場のニーズを把握できるような手段で進めていっていただきたい。

【企画経営室参事】他にご質問等ないようである。次に「市民協働推進事業」についてである。

—資料1を基に「市民協働推進事業」の進捗報告を行った—

【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。

【委員】他自治体では、どのような協働事業を実施しているか。

【生活文化課長】先進自治体である世田谷区では、住民が一つのコミュニティ組織として建物やホールの管理運営を担っていると聞いている。また、三鷹市の協働の取り組みも進んでおり、協働事業の洗い出しなど、本市が実施している取り組みの参考としている。視察した小平市においても、市民活動支援センターといった、市民が自主的な社会貢献活動、市民活動をするための施設がある。

【委員】生涯学習センターに、そういった市民活動支援センターのような機能は持たせられないか。

【生活文化課長】今後の施設のあり方にもよるが、イメージとしては、市内の各地域に配置されている施設の方が、拠点になりえる可能性がある。

【委員】協働事業の推進のための取り組みとして正しい方向に進んでいると考える。様々な協働事業がある中で生活文化課が中心となって推進体制を築いていくことが必要である。

【委員】平成28年度協働事業計画において説明のあった検証シートについて、洗い出した全ての事業について作成しているのか。

【生活文化課長】全事業について作成することは事務負担が大きいこともあり、各課から報告があった90事業のうち、より協働の考え方が深い事業を生活文化課で絞り込み、現在は25事業について検証シートを用いて検証を行っている。

【企画経営室参事】他にご質問等ないようである。次に「市独自研修事務」についてである。

—資料1を基に「市独自研修事務」の進捗報告を行った—

【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。

【委員】厳しい財政状況の中で、無償で提供されている研修を活用していくことも必要であるが、市が求めている職員像に向かって人材を育成するために必要な研修を探すといった視点も必要だと考える。

【職員課長】平成26年3月に「職員人材育成基本方針」を改定し、その方針に沿った研修を探しているところである。所管課としては、職員数が減少する中で、市町村職員研修所の研修でさえ受講する余裕もないといった状況が課題であると考えている。

【委員】今は自席で研修を受けることも可能ではないか。

【職員課長】そういった研修も一部実施している。

【委員】業務多忙により研修を受講する余裕がないといったことであれば、正規職員が担う業務といったものも精査していく必要があると考える。

【企画経営室参事】行革の視点でそういった精査は一定程度図ってきており、業務の委託等を進めているところである。その上で、職員課と調整しながら正規職員の配置をしているが、地方分権などにより地方自治体の業務が増えている現状もあり、実態として正規職員に余裕がないといった状況である。

【委員】同じ組織の中にいると、考え方も同一になってしまうこともあるため、他の自治体と交流できる研修など、普段と異なる環境での研修は必要であると考えている。

【職員課長】今後もできる限りそういった研修を実施できるよう計画していきたい。

【企画経営室参事】他にご質問等ないようである。続いて「駅施設維持管理事業」についてである。

—資料1を基に「駅施設維持管理事業」の進捗報告を行った—

【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。

【委員】どういった広告が掲載されているのか。

【管理課長】ポスター程度のものであれば過去に3回掲出しているが、広告料も割高であり、長期間の掲出は見込めない状況である。所管課としては、そういったポスター等の広告よりも、額縁を使った看板のような広告を掲出していきたいと考えている。現在も既にそういった枠を設置している広告場所もあるが、今後鉄道事業者との調整を続ける中で、市としてそういった枠の設置を増やしていく予定である。

【委員】それは実現のめどがたっているのか。

【管理課長】まだ実現のめどはたっていない。駅の広場を含めた施設については施設管理費が年間2,000

万程度かかっているため、その財源の一部とできるよう、広告事業を進めていきたいと考えているところである。

【委員】市内の大きな事業者に市側から広告を出さないかといった呼びかけはしているのか。

【管理課長】過去に呼びかけた経緯はあるが、あまりよい返事はいただけなかった。現在は、市内の病院や学習塾といった広告が多い現状もあるため、今後はそういった方向で呼びかけていきたいと考えている。

【企画経営室参事】他にご質問等ないようである。最後に「乳酸飲料配布事業」についてである。

—資料1を基に「乳酸飲料配布事業」の進捗報告を行った—

【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。

【委員】みまもりネットワーク利用者とのすみ分けは既にしていたのか。

【福祉総務課長】現状の洗い出しをした結果、たまたま重複していなかったといった状況である。

【委員】重複したサービス受給者は、平成29年度より乳酸飲料配布事業の対象外となるのか。

【福祉総務課長】新規での受付については平成29年度より対象外としていくが、既に重複して受給している方については、1年または2年程度の経過措置を設ける予定である。

【委員】昨年度の外部評価結果では、「栄養の補給」といった目的自体の妥当性の検証が必要であったといった話もあったが、その点についてはどう考えているか。

【福祉総務課長】目的の検証までは至っていない状況である。

【企画経営室参事】事業自体はご説明させていただいたとおりに整理したところであるが、目的についても今後、整理していく必要があると考える。

【委員】地域の老人クラブのような市民団体に見守り事業を担っていただくことはできないか。

【福祉総務課長】老人クラブに加入している方は相互に見守りをしているが、漏れが生じないようにするためには、市としてこういった見守り事業をしていくことが必要であると考えている。

【委員】こういった見守り事業を市で行っているということをごどのように市民に発信しているか。

【福祉総務課長】毎年10月の広報において、1頁を使ってお知らせしているが、事業が実施されていることを知らない市民もいると思われる。

【委員】実際に乳酸飲料配布事業で緊急対応をしたケースはあるのか。

【福祉総務課長】そういった事態においては数分単位での対応が必要ではあるが、本事業でも平成26年度に1件緊急対応をした事例があった。

【委員】その1件の事例のためにも見守り事業自体は継続して行っていく必要はある。

【企画経営室参事】他にご意見等ないようである。(1)平成27年度外部評価結果に対する進捗報告については以上とする。

(2)平成28年度外部評価(個別評価)について

【企画経営室参事】それでは、(2)平成28年度外部評価(個別評価)についてである。具体的な質疑応答は第4回会議で行うことを想定しているため、本日においては、質問等は最小限としていただけるようお願いする。まずは「基本事業01-02 市民と行政の情報共有」である。

—資料2を基に「基本事業01-02 市民と行政の情報共有」の説明を行った—

【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。

【委員】「01-02-01 情報コーナー整備事業」の活動指標と成果指標について、平成26年度以前の実績は把握していないのか。

【秘書広報課長】情報コーナーの指標については、利用者数に関連するものが指標として適切であるが、実績値の取得が難しいこともあり、平成27年度から実績が把握できる指標を再設定している。そのため、26年度以前は未把握である。

【委員】「01-02-05 声の広報事業」に記載がある「デジ図書」について、実物を見させていただくことは可能か。また、ホームページについても実際に見させていただきたい。

【秘書広報課長】「デジ図書」についてはご用意させていただく。

【企画経営室参事】ホームページについても、できる範囲で調整させていただく。

【委員】「01-02-11 ご意見箱設置事業」について、要望、苦情を受けた後のフローがわかる資料はあるか。

【生活文化課長】ご用意させていただく。

【企画経営室参事】他にご質問等ないようである。続いて「学童保育所管理運営事業と放課後子供教室推進事業について」である。

—資料 2 を基に「学童保育所管理運営事業と放課後子供教室推進事業について」の説明を行った—

【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。

【委員】両事業を比較するにあたり、対象範囲や補助金割合等を整理した一覧表をいただきたい。

【企画経営室参事】できる限り対応させていただく。

【委員】放課後子供教室推進事業について、概要として六つの柱といったことがあったが、資料としていただくことは可能か。

【生涯学習課長】ご用意させていただく。

【委員】学童保育所や放課後子供教室について、見学させていただきたい。

【生涯学習課長】放課後子供教室については、曜日や時間が決まっているが、事前にご連絡いただければ調整は可能である。

【企画経営室参事】事務局として調整させていただく。

【企画経営室参事】他にご質問等ないようである。最後に「子育て相談体制について」である。

—資料 2 を基に「子育て相談体制について」の説明を行った—

【企画経営室参事】これについてご質問等あるか。

【委員】子ども家庭支援センターと地域子育て支援センター事業の違いについて整理した一覧表が欲しい。

【児童青少年課長】対応させていただく。

【企画経営室参事】事務事業概要シート等についても、修正が必要であればあわせて修正する。

【委員】暮らしの便利帳の P62 に記載がある「親と子のための健康相談と健康診査」のイベントは、今回ご説明いただいた事務事業のうち、どれに属するのか。

【健康課長】それぞれ明確に対応しているものではないが、子育て相談体制に係る事業について、整理した資料をご用意させていただく。

【委員】「11-02-08 育児相談事業」は 27 年度において特定財源が廃止されているが、基準財政需要額に算入されることによる代替はあるのか。

【企画経営室参事】確認する。

【委員】「11-02-09 乳幼児経過観察健診心理相談(個別・集団)事業」について、常勤の職員がいるのか。

【健康課長】保健師に関しては常勤の職員に対応していただいている。心理相談員と保育士に関しては非常勤であり、イベント実施時に対応をお願いしている。

【委員】事務事業評価表上では常勤の職員は人件費として、非常勤は全庁一括して職員課の事業費として算入していると思われるが、その内訳についてわかる資料をいただきたい。

【健康課長】ご用意させていただく。

【企画経営室参事】他にご意見等ないようである。本会議後においても資料等が必要になった場合には事務局にご連絡いただければ、所管課と調整し対応させていただく。また、本日は主に所管課長の事業説明とさせていただいたが、第 4 回会議では、本日の説明を基に詳細な議論を行っていきたいと考えているため、よろしく願います。(2)平成 28 年度外部評価(個別評価)については以上とする。

### (3) その他

【企画経営室参事】最後に(3)その他についてを議題とする。第 4 回会議以降の外部評価会議についてである。第 4 回会議では、具体的に所管課との質疑応答をしていただき、ご意見等をいただく。その後、いただいたご意見を基に事務局において「外部評価結果」を起草し、第 5 回会議で「外部評価結果」を最終的に決定してまいりたいと考えている。ついては、第 4 回会議及び第 5 回会議の日程について調整させていただきたい。

—第 4 回会議及び第 5 回会議の日程について調整を行った—

【企画経営室参事】それでは、第 4 回会議については、1 月 31 日(火)の 14 時から 16 時半で開催させていただく。第 5 回会議については、2 月 6 日(月)に開催させていただくが、時間については各委員と改めて調整の上、再度連絡させていただく。

【企画経営室参事】以上をもって、平成 28 年度第 3 回の外部評価会議を終了とする。

—以上—